

誰もが安心して学べる 学校・居場所づくり

誰一人取り残さない不登校対策

令和5年8月29日
岐阜市教育委員会事務局
学校安全支援課

明日もまた行きたいと思える学校づくりのために

楽しさをサポート

- ・ ぎふMIRAI's
- ・ 生命の尊厳・生き方の探究学習

安心をサポート

- ・ 主任いじめ・いじめ対策監
- ・ ここタン
- ・ 生徒指導サポーター
- ・ スクールカウンセラー
- ・ ほほえみ相談員
- ・ Wサポートプラン

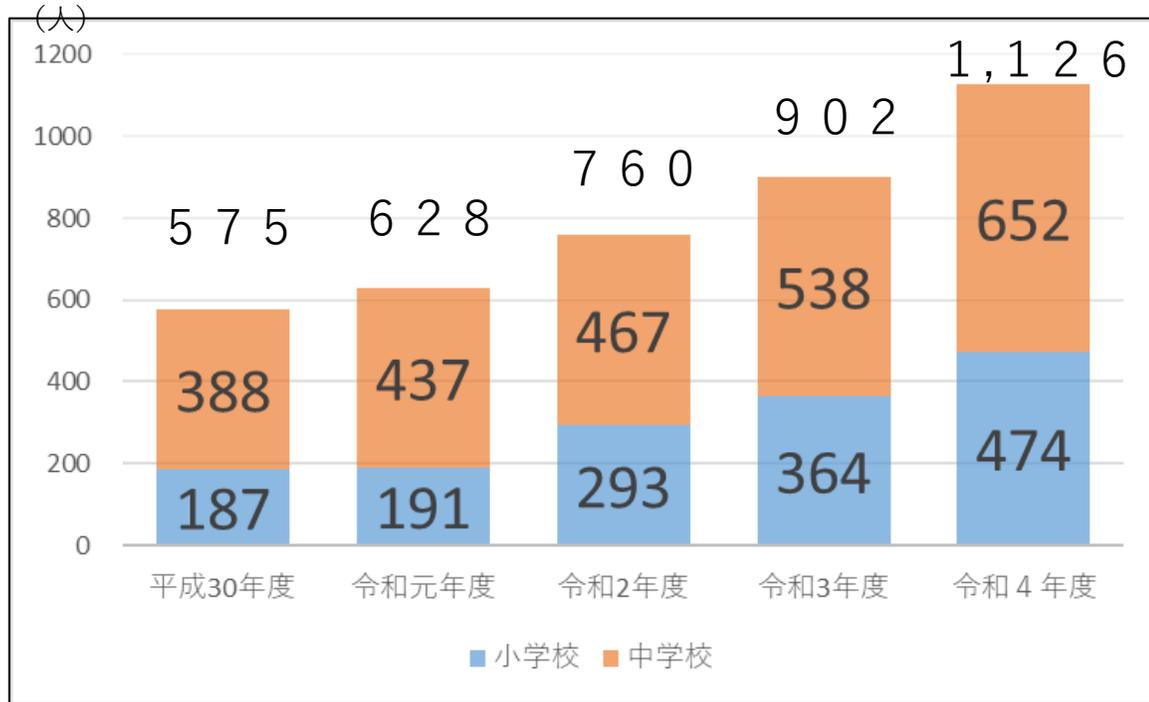
学びをサポート

- ・ ハートフルサポーター
- ・ ロイロノート
- ・ スタディサプリ

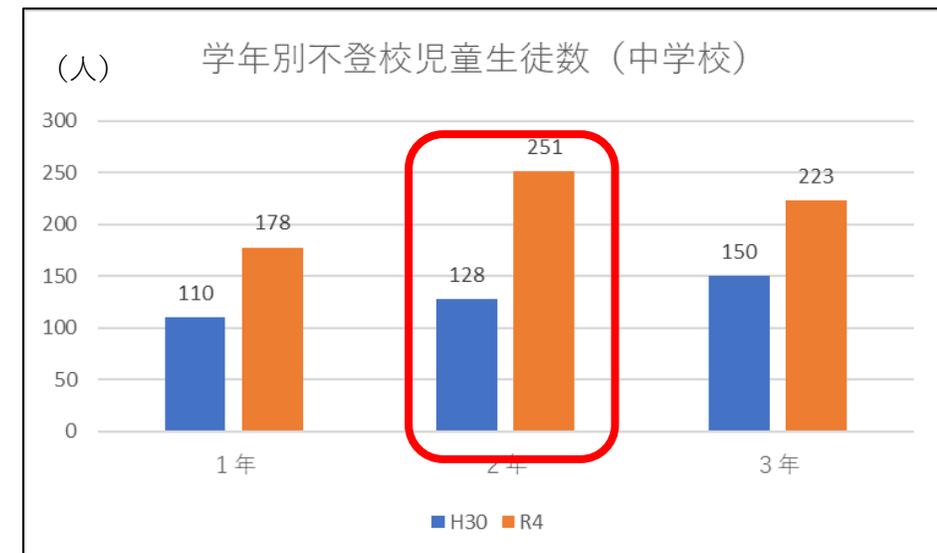
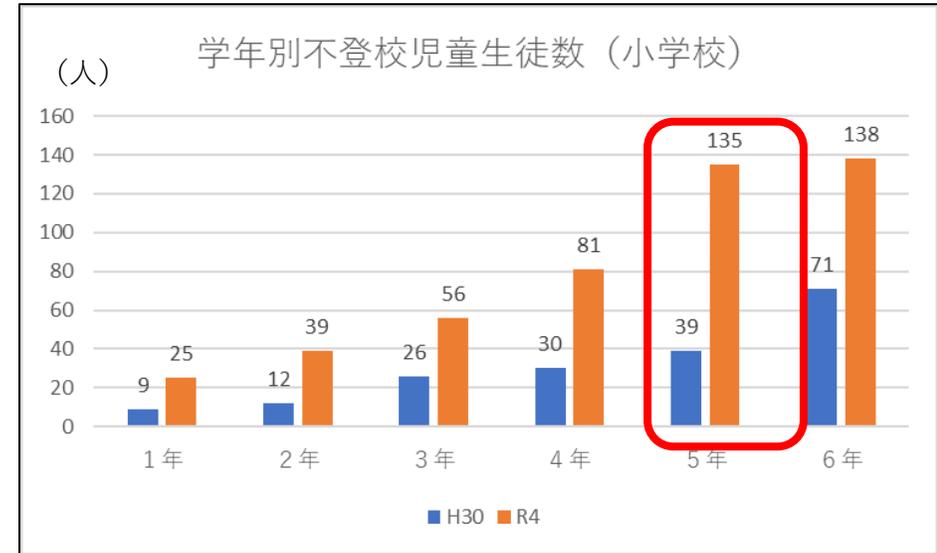
- 1 岐阜市の不登校状況
- 2 不登校児童生徒の実態
- 3 岐阜市の取組
- 4 誰一人取り残さない不登校対策

1 岐阜市の不登校状況

岐阜市の不登校児童生徒数の推移(5年間)

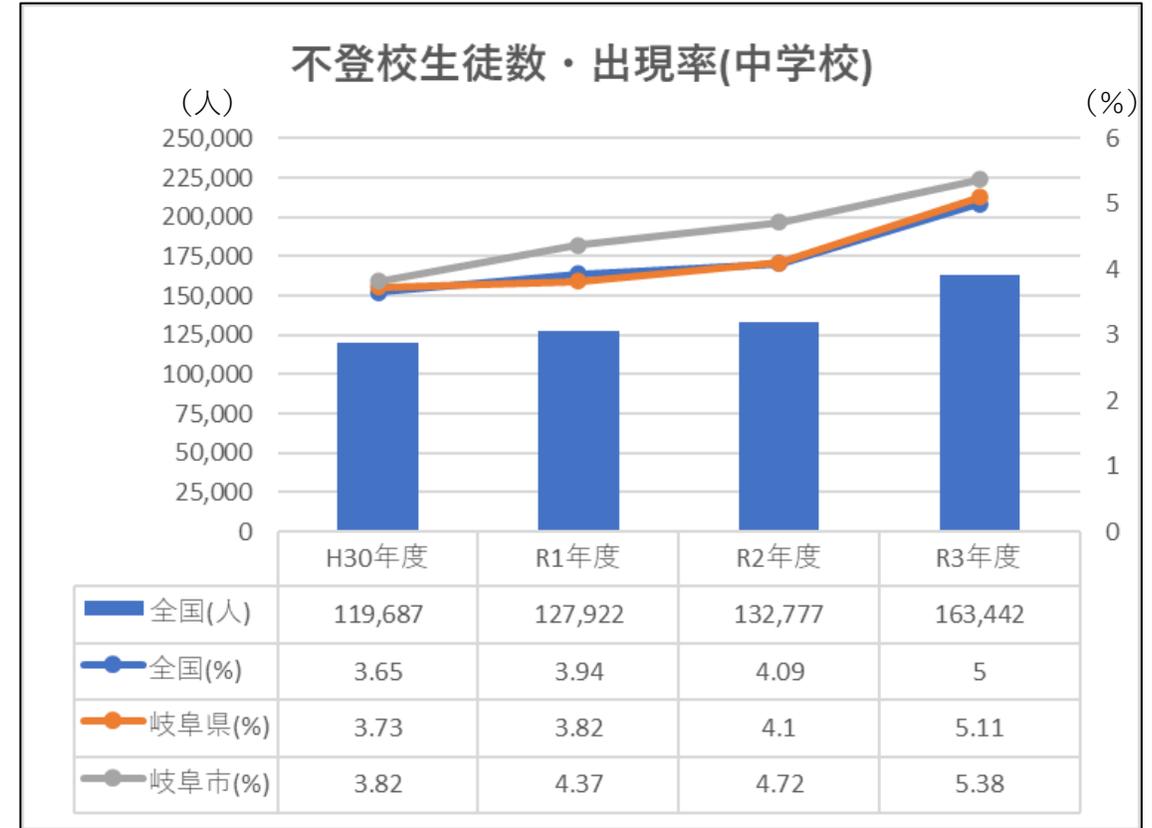


不登校児童生徒数は5年間で約2倍
小学5年及び中学2年の増加



1 岐阜市の不登校状況

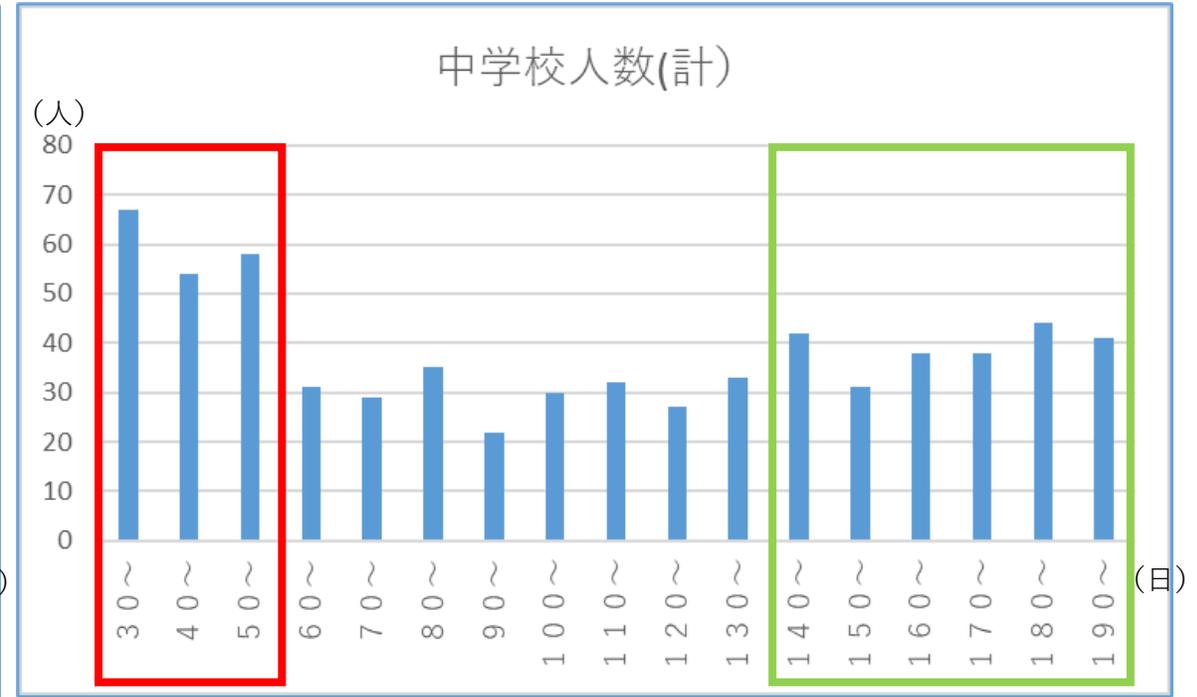
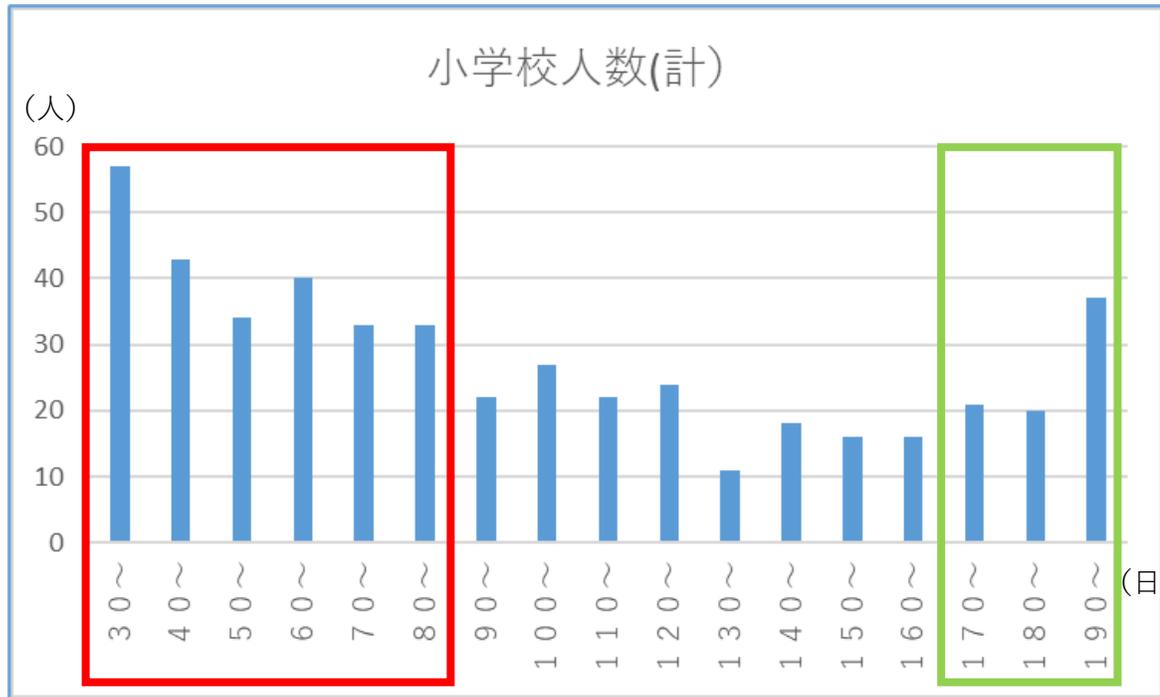
不登校児童生徒数・出現率(100人あたり)



全国的にも不登校児童生徒数・出現率は増加傾向

1 岐阜市の不登校状況

令和4年度 岐阜市の不登校児童生徒欠席日数別人数



比較的登校できている児童生徒と欠席が長期にわたる児童生徒とに二極化傾向

2 不登校児童生徒の実態

不登校児童生徒の実態把握に関する調査報告書（令和3年10月 文部科学省）

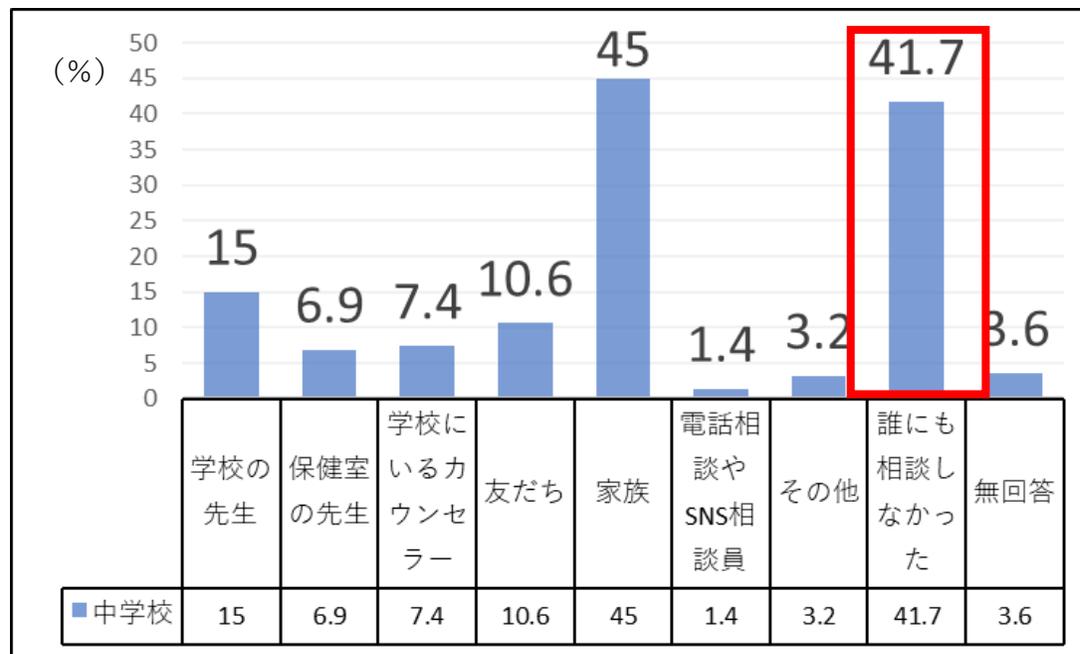
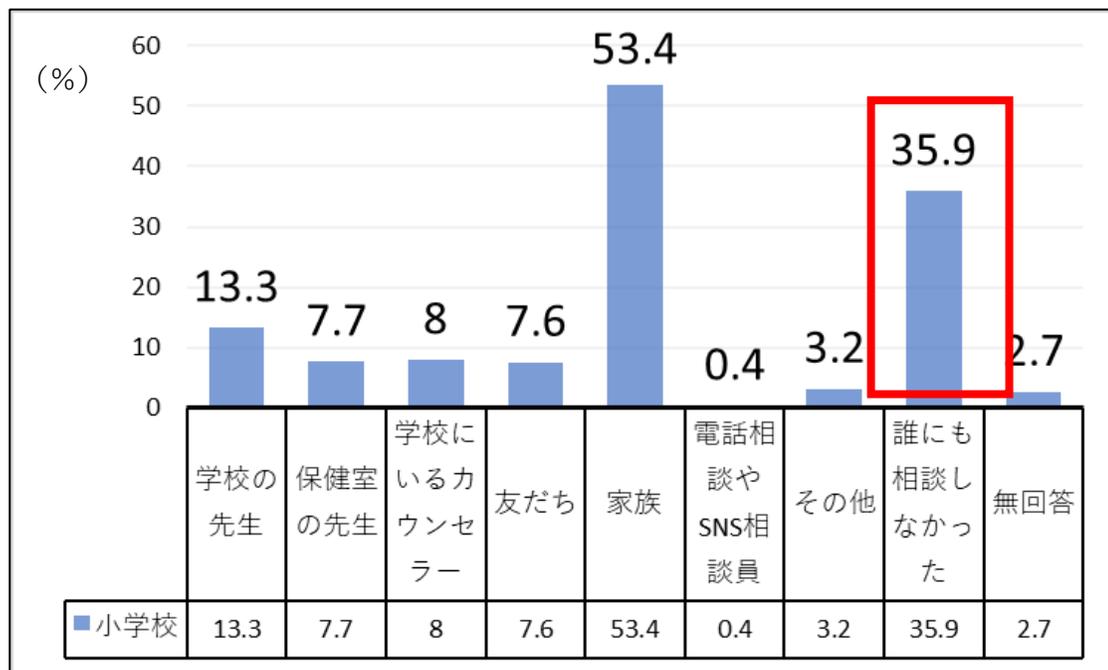
●学校に行きづらいつ感じ始めたきっかけ(複数回答)		
身体の不調	中学生32.6%	小学生26.5%
勉強が分からない	中学生27.6%	小学生22.0%
先生のこと	中学生27.5%	小学生29.7%
友だちのこと(いやがらせやいじめ以外)	中学生25.6%	小学生21.7%
友だちのこと(いやがらせやいじめ)	中学生25.5%	小学生25.2%
生活リズムの乱れ	中学生25.5%	小学生25.7%

学校生活の不安や困り感がきっかけになることも

2 不登校児童生徒の実態

不登校児童生徒の実態把握に関する調査報告書（令和3年10月 文部科学省）

●学校に行きづらいことについて相談した相手



誰にも相談していない児童生徒の割合が高い

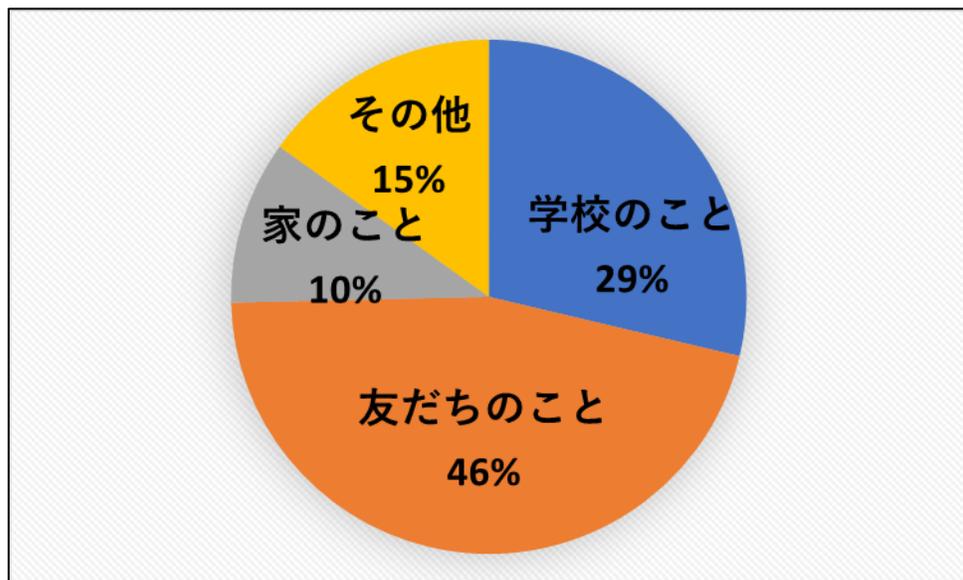
3 岐阜市の取組

ICTを活用した子どもの健康サポート「ここタン」の「聞いてほしい」ボタンの利用状況(4月～6月)

(件数)

	学校のこと	友だちのこと	家のこと	その他	合計
小学校	268件	483件	110件	173件	1,034件
中学校	92件	93件	19件	116件	320件
全体	360件	576件	129件	189件	1,354件

(割合(全体))



SOSの出しやすさによる
不安や困り感への早期対応

3 岐阜市の取組

草潤中学校

ありのままの君を受け入れる新たな形

- 特別の教育課程
- ハイブリッド授業
- 選択可能なカリキュラム
- 校則や制服がない自由な校風
- カウンセリング・ソーシャルスキル
- セルフデザイン
- 産学ブースによる学び

自己肯定感を育みながら、
その子らしく成長、自立へ



3 岐阜市の取組

草潤中学校の取組からみえてきた不登校児童生徒への支援方法

自分のよさの自覚

自己肯定感の回復

自己調整力の育成

同世代のつながり

信頼できる大人

個別最適な学び

大事にされている実感



安心できる居場所

エネルギーの回復
不登校の改善

エネルギーの蓄積

エネルギーの低下
による不登校

4 誰一人取り残さない不登校対策

校内フリースペース

(R5～中学校5校)

心のエネルギーが回復しつつある
児童生徒の居場所

- 安心できる空間づくり
- フリースペース担任を配置
- 個別や協働で学びができる
什器を整備
- 自己選択できる柔軟なカリ
キュラム

成果

○利用者の増加（4月37人→7月64人）

○出席日数の増加した生徒（60%）

※前年度不登校であり、設置前4か月（12月～3月）と比較できる
生徒について検証

一定のニーズ（拡大の必要性）

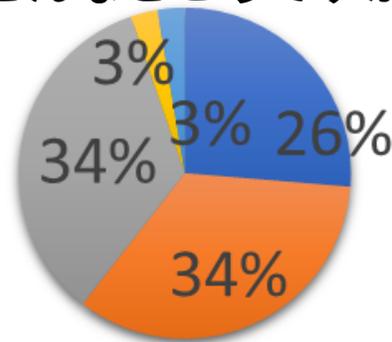


4 誰一人取り残さない不登校対策

オンラインを活用した
不登校児童生徒への支援 (R4~)

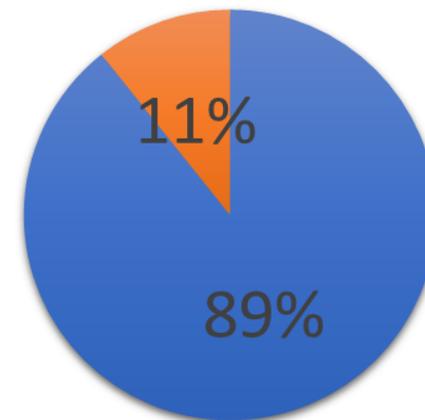
参加者アンケート結果

メタバース教室の良い所
はどんなところですか？



- 挙手やノート提出などを求められない所
- たくさんの人と交流ができる所
- ニックネームで入れたり、移動したりできる所
- 開催時間が限られている所
- わからない

(保護者対象) メタバース教室
があったらお子さんを通わせたい
と思いますか？



■ はい ■ いいえ

設問：メタバース教室を開設してほしい理由は？

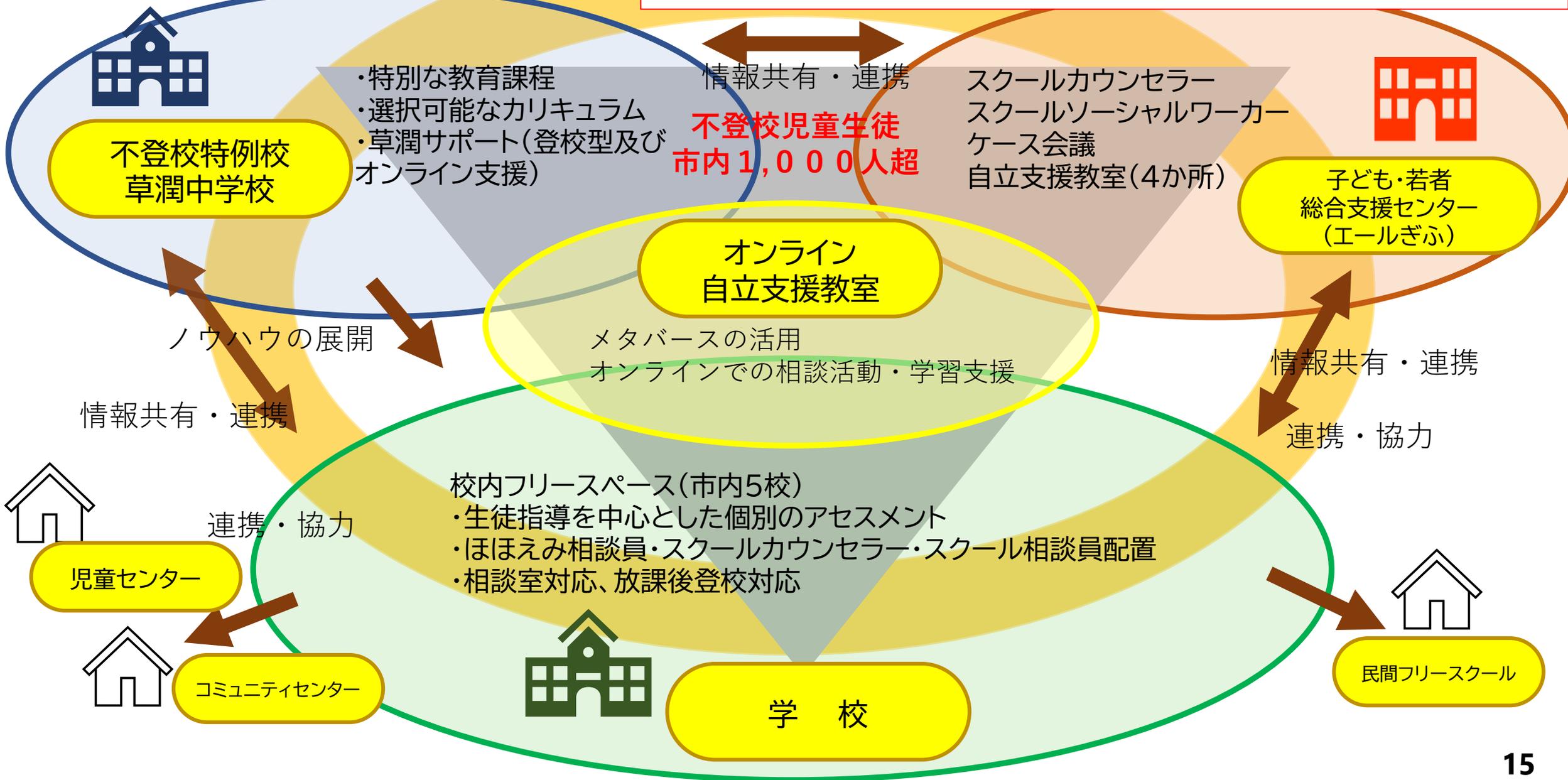
回答：○ここしかしゃべれないから ○不登校の子たちの支えになると思うから
○安心して過ごせるから ○いろんな境遇の人でも学び楽しめるから

オンラインを活用した支援について、児童生徒及び保護者のニーズや期待は大きい

4 誰一人取り残さない不登校対策

「いつでも・どこでも・だれかにつながる」

草潤中学校を中心とした、エールぎふ・校内フリースペース・オンラインを活用した支援等により、誰一人取り残さない不登校児童生徒への支援体制の構築へ



4 誰一人取り残さない不登校対策

不登校児童生徒への未然防止・早期対応

安心して学べる学校である
ための教師力向上

一人ひとりのよさや
可能性の伸長

- ・ 生徒指導への組織的対応
- ・ いじめ防止対策推進委員会
- ・ 教育相談委員会
- ・ ケース会議
- ・ 校内研修の企画・運営

- ・ 自己存在感、自己肯定感、自己有用感を育成する指導の工夫
- ・ 互いの個性や多様性を認め合う学級経営
- ・ ハートフルサポーターの配置
- ・ スタディサプリ等タブレットを活用した学習支援

不登校児童生徒への未然防止・早期対応

児童生徒のSOSの 早期発見・早期対応

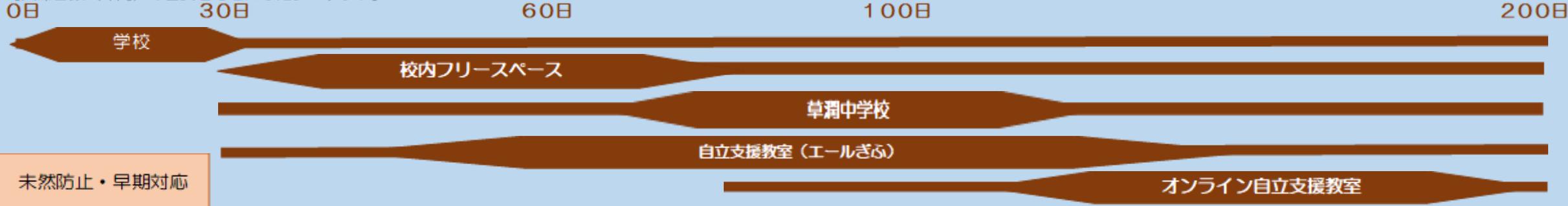
- ・ここタンの活用
- ・心のアンケート結果の活用
- ・いじめアンケート結果の活用
- ・Wサポートプランの実施
- ・スクールカウンセラー、
スクール相談員の派遣
- ・スクールソーシャルワーカー
の派遣

個に応じたケアや支援

- ・ほほえみ相談員の配置
- ・不登校の状況に関する
アセスメントの実施
- ・個別支援プログラムの作成
- ・別室登校、放課後登校等
への対応

4 誰一人取り残さない不登校対策

【欠席日数（年間）の目安をもとにしたターゲット】



学 校

- ◆安心して学べる学校づくりのための教師力
- ◆一人ひとりのよさや可能性の伸長
- ◆児童生徒のSOSに対する早期発見、早期対応
- ◆困に応じたケアや支援

校内フリースペース（校内FS）

【対象】 地元の学校で過ごしたい児童生徒
学校及び学級復帰を目指す児童生徒

【人数】 各学校10数名程度
R5年度＝5校（各ブロック1校）
※三輪中、岐阜清流中、梅林中、湯川中、長森中は各ブロックの中心校

【特徴】

- ◆草潤中の成果やノウハウを横展開
- ◆通常の教育課程が基本（個別に対応）
- ◆慣れた環境や人の中で生活
- ◆登校すれば「出席」（校外学習届け）
- ◆担任とほぼえみ相談員が常駐

自立支援教室（エールぎふ所管4教室）

【対象】 地元の学校で過ごしたくない児童生徒
学校及び学級復帰を目指す児童生徒

【人数】 各学校20名程度
芥見子ども・若者自立支援教室 明徳子ども・若者自立支援教室
岐陽子ども・若者自立支援教室 七郷子ども・若者自立支援教室

【特徴】

- ◆様々な関係機関との連携
- ◆家庭や保護者支援も充実
- ◆登校すれば「出席扱い」
- ◆1日3h（午前2h、午後1h）
※1hは学習
- ◆小中の児童生徒が混在

草潤中学校（不登校特例校）

【対象】 地元の学校で過ごしたくない生徒
及び学級復帰のみを目指さない生徒

【人数】 40人（草潤中在籍）
25人（通級）
25人（オンライン）

【特徴】

- ◆学校らしくない学校
- ◆特別な教育課程
（自分に合った方法・内容・セルフデザイン）
- ◆登校すれば「出席」

オンライン自立支援教室（メタバース）

【対象】 他人と顔を合わせるのが苦手な児童生徒

【人数】 制限なし
R4より実証実験

【特徴】

- ◆家から出られない児童生徒でも参加できる
- ◆タブレットを活用して支援が可能
- ◆顔や名前が出ない（アバターで参加）
- ◆参加すれば「出席扱い」

安心して学べる居場所で、自分のよさを生かした将来的な自立を目指す



自分のよさの自覚

同世代のつながり

個別最適な学び

信頼できる大人

安心できる居場所

岐阜市内約3万人の児童生徒、誰もがかけがえのない学生時代を

論点整理

本日は、主に以下の事項についてご協議いただきたい

○誰もが安心して学ぶための学校・居場所づくりに
必要な視点・取組について